

3月17~19日

田城 郁 参議院議員 甚大な被害の被災地を激励!



仙台港では、津波によって出荷待ちの新車やコンテナなどが流されたままの状態であった



宮古駅連合分会より被災状況の説明を受け
昼夜を問わず奮闘する組合員を激励する



仙台地本に救援物資をもって訪れ
復興・復旧に向けて激励をする



田城 郁参議院議員は、この間地震発生以降被災された方々に思いを馳せて、奮闘してきています。深刻な燃料不足を受けて、18日から運行をはじめた根岸製油所（横浜市）から盛岡貨物ターミナルへのガソリンと軽油を積んだ貨物列車は、民主党対策本部にJR総連と田城郁議員が要請し実現したものです。20日には、この貨物列車で運ばれたタンクローリー20台分の燃料が、宮古地区を中心に沿岸部に届きました。現地を訪れた田城議員は、被災した現地に「災害対策本部」を設置して、「被災された市民から、『何が求められているのか』を把握して政府は対応すべき」と主張して多くの議員の方に訴えており、今後も震災からの復興・復旧に向けて全力で取り組んでいきます。

